

# 平成26年長崎市観光統計



平成27年3月

長 崎 市

# 目 次

1	平成26年の観光動向	1
2	観光統計総括表	4
3	観光客数・観光消費額の推移	5
4	月別観光客数	6
5	個人客・団体客の推移	7
6	宿泊客・日帰り客の推移	8
7	交通機関別観光客数の推移	9
8	外国人延べ宿泊者数の推移	10
9	国・地域別外国人延べ宿泊者数	11
10	コンベンション統計	12
11	経済波及効果	14
— 参考資料 —		
1	観光客数の推移	16
2	主要観光施設の入場者数	17
3	主要イベントの集客数及び経済波及効果	17
4	宿泊施設の状況	18
5	クルーズ客船乗客・乗務員数	19

# 1 平成26年の観光動向

## (1) 全国の観光動向

### 平成26年の国内旅行者数

2億8,740万人 前年比1.2%減(350万人減)

### 平成26年の海外旅行者数

1,693万人 前年比3.1%減(54万人減)

平成26年の国内旅行は、4月の消費税増税(5%から8%へ引き上げ)前の駆け込み需要により1月から3月までの旅行消費額は前年同期比を上回ったものの、夏から秋にかけての旅行シーズンには、台風等による大雨や暴風、燃料費の高騰が影響を与える等、その後の消費の落ち込みからの回復が遅れ、国内旅行者数は前年を1.2%下回る2億8,740万人であった。

また、海外旅行は、東南アジアへの訪問者が増加した一方、中国、韓国については、平成24年秋以降の国際関係の影響から減少が継続している。また、海外で発生した感染症、円安等の影響により、海外旅行者数は前年を3.1%下回る1,693万人であった。

#### 【参考】

- ・台風発生数：平成26年22個・平年値25.6個、接近数：平成26年5個・平年値5.5個、上陸数：平成26年4個・平年値2.7個
- ・レギュラーガソリン店頭現金価格(全国平均)：平成25年4月1日時点で155.2円であったが、その後価格は上下動しながら平成26年4月1日に164.1円となった。7月14日に169.9円でピークに達した後に価格は下がり始め、平成27年2月9日に133.5円まで下がった。

※出典 ・JTB広報室ニュースリリース「2015年の旅行動向見通し」(2013年第117号)  
旅行人数は、1泊以上の日本人の旅行(ビジネス・帰省を含む。)の推計。

- ・観光庁「旅行・観光消費動向調査」
- ・気象庁「2014年(平成26年)の台風について」(平成26年12月22日)、
- ・資源エネルギー庁「石油製品価格調査」

### 平成26年の訪日外客数

1,341万4千人【過去最高】 前年比29.4%増(305万人増)

平成25年に日本を訪れた外国人(訪日外客数)は1,036万4千人で、初めて1,000万人を突破したが、平成26年の訪日外客数は査証(ビザ)の大幅緩和、消費税免税制度の拡充、アジア地域の経済成長に伴う海外旅行需要の拡大、円安進行による訪日旅行の割安感の浸透等により、前年比29.4%増(305万人増)の1,341万4千人で過去最高となった。

平成25年7月に行われた東南アジア5か国（タイ、マレーシア、ベトナム、フィリピン、インドネシア）のビザの免除・緩和の効果が平成26年に表れているが、平成26年9月30日にインドネシア、フィリピン、ベトナムの3か国についてさらなるビザの大幅緩和が行われ、インドネシアについては12月から在外公館へのIC旅券の事前登録制によるビザ免除が開始されたことから、2015年にその効果が顕著になると予測されている。

また、消費税免税制度を活用した外国人旅行者の誘客、旅行消費の拡大による地域経済の活性化を図るため、平成26年10月1日から、従来免税販売の対象となっていなかった消耗品（食品類、飲料類、薬品類、化粧品類その他の消耗品）を含めたすべての品目が新たに免税対象となったのに加え、平成27年4月には、免税販売手続を第三者に委託することを前提とした、新たな免税店許可制度（手続委託型輸出物品販売場制度）の創設等が予定されている。

- ※出典 ・日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数の動向 2014年12月推計値」（平成27年1月20日）  
 ・自由民主党・公明党「平成27年度税制改正大綱」（平成26年12月30日）

## (2) 長崎市の観光動向

### 観光客数

**630万6,800人【過去最高】** 前年比3.8%増（約22.9万人増）

①宿泊客数 274万1,500人（前年比 1.8%増）

日帰り客数 356万5,300人（前年比 5.4%増）

②個人客数 538万9,400人（前年比 4.6%増）

団体客数 91万7,400人（前年比 0.7%減）

〔一般団体客数 63万2,200人（前年比 1.9%増）

〔学生団体客数（修学旅行生） 28万5,200人（前年比 6.0%減）

### 外国人延べ宿泊客数

**21万2,524人【過去最高】** 前年比19.0%増（約3.4万人増）

### クルーズ客船入港数、乗客・乗務員数

入港数 75隻【過去最高】 前年比 92.3%増（36隻増）

乗客・乗務員数 19万9,031人【過去最高】

前年比 153.0%増（約12万人増）

〔国内クルーズ船 入港数 3隻 前年比 50%増（1隻増）

乗客・乗務員数 1,808人

前年比 4.9%増（84人増）

〔国際クルーズ船 入港数 72隻【過去最高（同数）】

前年比 94.6%増（35隻増）

乗客・乗務員数 19万7,223人【過去最高】

前年比 156.3%増（約12万人増）

## 観光消費額

1, 243億2, 300万円【過去最高】 前年比3.3%増（約40億円増）

## 経済波及効果

1, 939億円【過去最高】 前年比2.9%増（約54億円増）

平成26年の長崎市の観光客数は、NHK大河ドラマ「龍馬伝」が放送された平成22年の観光客数611万人、さらに「長崎旅博覧会（旅博）」が開催された平成2年の628万人を超え、過去最高の630万6,800人（前年比22万9千人増（3.8%増））となった。

また、宿泊客数は274万1,500人、日帰り客数は356万5,300人で日帰り客数の割合が高くなったが、ともに前年を上回った。一般団体客数は63万2千人で前年比1.9%増、修学旅行生は28万5,200人で前年比6.0%減となった。

外国人延べ宿泊者数については、前年より3万3,964人増（19.0%増）の21万2,524人となり、過去最高となった。国・地域別に見ると、アジア地域が7割を超えて占めており、韓国、台湾、中国と上位3か国は前年と同じであった。

以上の観光客数に影響を与えた要因を以下のとおり分析した。

### 【増減の要因】

#### ・夜景観光の好調の継続

平成24年10月に長崎市の夜景が世界新三大夜景に認定されて以降、宿泊客数は前年比プラスで推移しており、引き続き好調な夜景観光が宿泊滞在型観光の推進に寄与している。

#### ・2つの世界遺産候補の推薦決定

「明治日本の産業革命遺産 九州山口と関連地域」、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の2つがユネスコの世界文化遺産への推薦が決定したことから、積極的な情報発信を行っているのに加え、各種メディアで取り上げられる機会が増えたことから、特に構成資産のひとつである端島（軍艦島）の上陸者数が前年を大きく上回る（平成25年：15万1,567人⇒平成26年：18万3,996人）等、誘客につながっていると考えられる。

#### ・国体開催による入込客の増加

長崎県内ではがんばらんば国体・大会が開催され、長崎市でも9月の会期前開催、10月の正式開催の期間中に21万4,265人（大会関係者7万9,658人、観覧者13万4,607人）の参加があり、そのうち多くの方々が宿泊施設を利用したことにより、期間中の宿泊施設稼働率の向上に寄与したが、国体参加者であるため観光施設の入場者数等は伸び悩んだ。また、同期間中は国体参加者が宿泊施設を利用していたことから、修学旅行等の団体観光客をはじめ観光客が同期間の前後に分散して訪れたと推測され、その結果、年間の観光客総数は増加した。

#### ・クルーズ客船の入港隻数増加

長崎港へのクルーズ客船の入港実績は、75隻（乗客・乗務員総数：19万9,031人）で過去最高であった。特に国際クルーズ客船は72隻（乗客・乗務員総数：19万7,223人）で、前年の37隻（乗客・乗務員総数：7万6,959人）に対し、35隻増（乗客・乗務員総数12万264人増）で、前年を大幅に上回った。

## 2 観光統計総括表

【単位：人、億円、％】

		平成25年	平成26年	前年比	
				構成比	前年比
観光客数		6,078,000	6,306,800	100.0	3.8
旅行形態別	個人客数	5,154,000	5,389,400	85.5	4.6
	団体客数	924,000	917,400	14.5	△0.7
	一般	620,500	632,200	68.9	1.9
	学生	303,500	285,200	31.1	△6.0
宿泊の有無	宿泊客数	2,694,100	2,741,500	43.5	1.8
	日帰り客数	3,383,900	3,565,300	56.5	5.4
交通機関別	JR	1,253,900	1,285,800	20.4	2.5
	自動車	3,938,700	3,979,300	63.1	1.0
	船舶	236,500	358,500	5.7	51.6
	航空機	648,900	683,200	10.8	5.3
観光消費額		1,203	1,243		3.3
経済波及効果		1,885	1,939		2.9

### 3 観光客数・観光消費額の推移

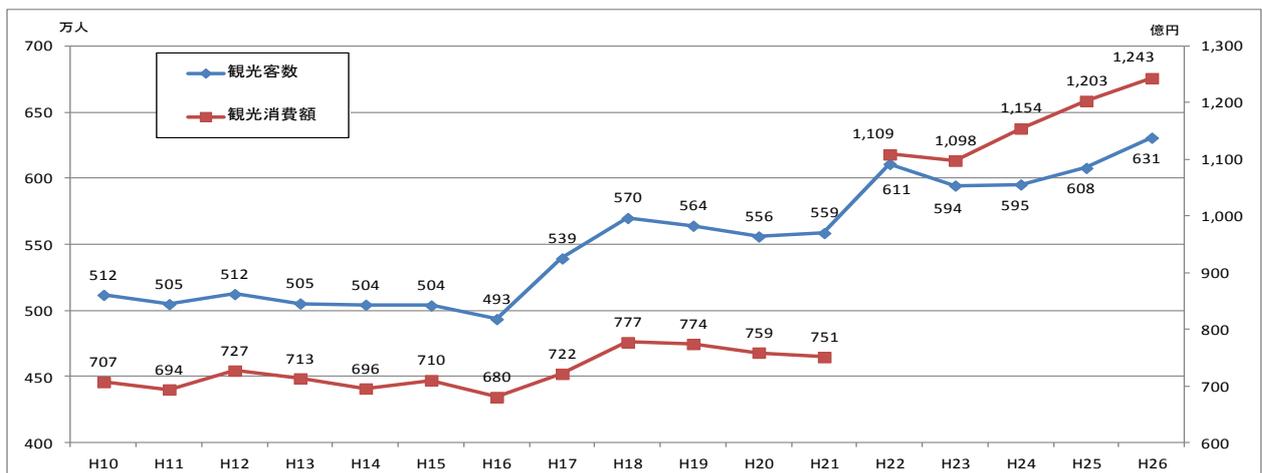
【単位：人、千円、％】

年	観光客数	対前年増減	前年比	観光消費額	対前年増減	前年比
平成 10 年	5,117,700	△ 100,300	△1.9	70,698,413	△ 6,583,932	△8.5
平成 11 年	5,047,800	△ 69,900	△1.4	69,384,935	△ 1,313,478	△1.9
平成 12 年	5,123,700	75,900	1.5	72,711,032	3,326,097	4.8
平成 13 年	5,052,600	△ 71,100	△1.4	71,334,560	△ 1,376,472	△1.9
平成 14 年	5,043,200	△ 9,400	△0.2	69,553,065	△ 1,781,495	△2.5
平成 15 年	5,037,500	△ 5,700	△0.1	71,012,330	1,459,265	2.1
平成 16 年	4,934,700	△ 102,800	△2.0	68,043,311	△ 2,969,019	△4.2
平成 17 年	5,393,500	458,800	9.3	72,150,208	4,106,897	6.0
平成 18 年	5,699,300	305,800	5.7	77,721,719	5,571,511	7.7
平成 19 年	5,640,900	△ 58,400	△1.0	77,422,055	△ 299,664	△0.4
平成 20 年	5,559,500	△ 81,400	△1.4	75,890,453	△ 1,531,602	△2.0
平成 21 年	5,585,600	26,100	0.5	75,101,615	△ 788,838	△1.0
平成 22 年	6,108,300	522,700	9.4	(81,189,235) 110,880,935	(6,087,620) 35,779,320	(8.1) 47.6
平成 23 年	5,944,700	△163,600	△2.7	(79,296,173) 109,766,697	(△1,893,062) △ 1,114,238	(△2.3) △1.0
平成 24 年	5,952,900	8,200	0.1	(80,441,679) 115,446,919	(1,145,506) 5,680,222	(1.4) 5.2
平成 25 年	6,078,000	125,100	2.1	(83,099,360) 120,320,106	(2,657,681) 4,873,187	(3.3) 4.2
平成 26 年	6,306,800	228,800	3.8	(85,527,640) 124,323,000	(2,428,280) 4,002,894	(2.9) 3.3

※ 観光消費額は、平成 22 年から次のとおり基礎数値を見直して算定している。

(旧) 平成 12 年度の一泊宿泊時の平均消費額 (新) 連泊を考慮した宿泊客全体の平均消費額  
 なお、(旧)の基礎数値にもとづく観光消費額を ( ) で表示する。

図 1 観光客数・観光消費額の推移



## 4 月別観光客数

【単位：人、％】

月	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	【単位：人、％】	
				構成比	前年比
1 月	323,100	326,600	337,600	5.4	3.4
2 月	356,000	395,200	412,900	6.5	4.5
3 月	618,400	624,500	654,900	10.4	4.9
4 月	516,100	541,600	522,800	8.3	△ 3.5
5 月	533,600	587,800	620,800	9.8	5.6
6 月	344,100	353,100	393,200	6.2	11.4
7 月	500,300	489,500	506,800	8.0	3.5
8 月	643,500	632,200	629,700	10.0	△ 0.4
9 月	514,000	533,000	572,100	9.1	7.3
10 月	618,900	610,100	610,400	9.7	0.0
11 月	592,000	587,400	626,500	9.9	6.7
12 月	392,900	397,000	419,100	6.6	5.6
計	5,952,900	6,078,000	6,306,800	100.0	3.8

※ 構成比については、端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない。

図2 月別観光客数

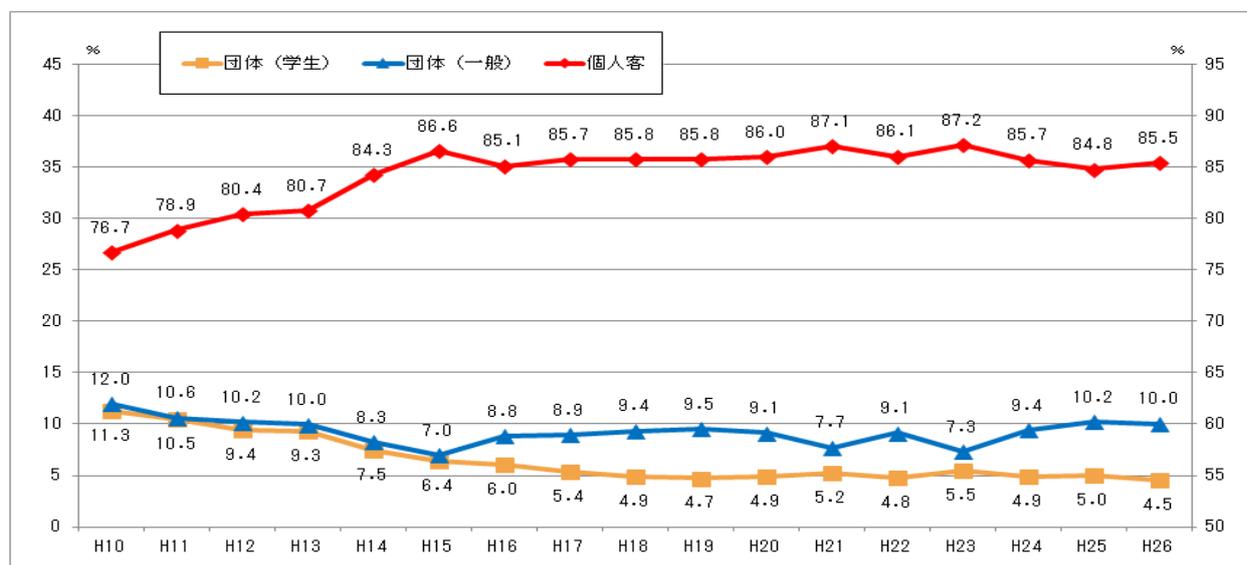


## 5 個人客・団体客の推移

【単位：人、％】

年	個人客		団体客		一般		学生	
	人数	前年比	人数	前年比	人数	前年比	人数	前年比
平成10年	3,926,800	0.6	1,190,900	△9.4	613,400	△12.6	577,500	△5.7
平成11年	3,981,400	1.4	1,066,400	△10.5	536,000	△12.6	530,400	△8.2
平成12年	4,120,800	3.5	1,002,900	△5.9	521,700	△2.7	481,200	△9.3
平成13年	4,079,900	△1.0	972,700	△3.0	502,800	△3.6	469,900	△2.3
平成14年	4,249,400	4.2	793,800	△18.4	416,800	△17.1	377,000	△19.8
平成15年	4,362,700	2.7	674,800	△15.0	350,500	△15.9	324,300	△14.0
平成16年	4,200,800	△3.7	733,900	8.8	435,400	24.2	298,500	△8.0
平成17年	4,624,300	10.1	769,200	4.8	480,500	10.4	288,700	△3.3
平成18年	4,889,300	5.7	810,000	5.3	533,000	10.9	277,000	△4.1
平成19年	4,839,000	△1.0	801,900	△1.0	535,500	0.5	266,400	△3.8
平成20年	4,779,800	△1.2	779,700	△2.8	508,000	△5.1	271,700	2.0
平成21年	4,863,800	1.8	721,800	△7.4	430,500	△15.3	291,300	7.2
平成22年	5,256,900	8.1	851,400	18.0	558,300	29.7	293,100	0.6
平成23年	5,182,900	△1.4	761,800	△10.5	434,000	△22.3	327,800	11.8
平成24年	5,102,100	△1.6	850,800	11.7	560,300	29.1	290,500	△11.4
平成25年	5,154,000	1.0	924,000	8.6	620,500	10.7	303,500	4.5
平成26年	5,389,400	4.6	917,400	△0.7	632,200	1.9	285,200	△6.0

図3 個人客・団体客（構成比）の推移

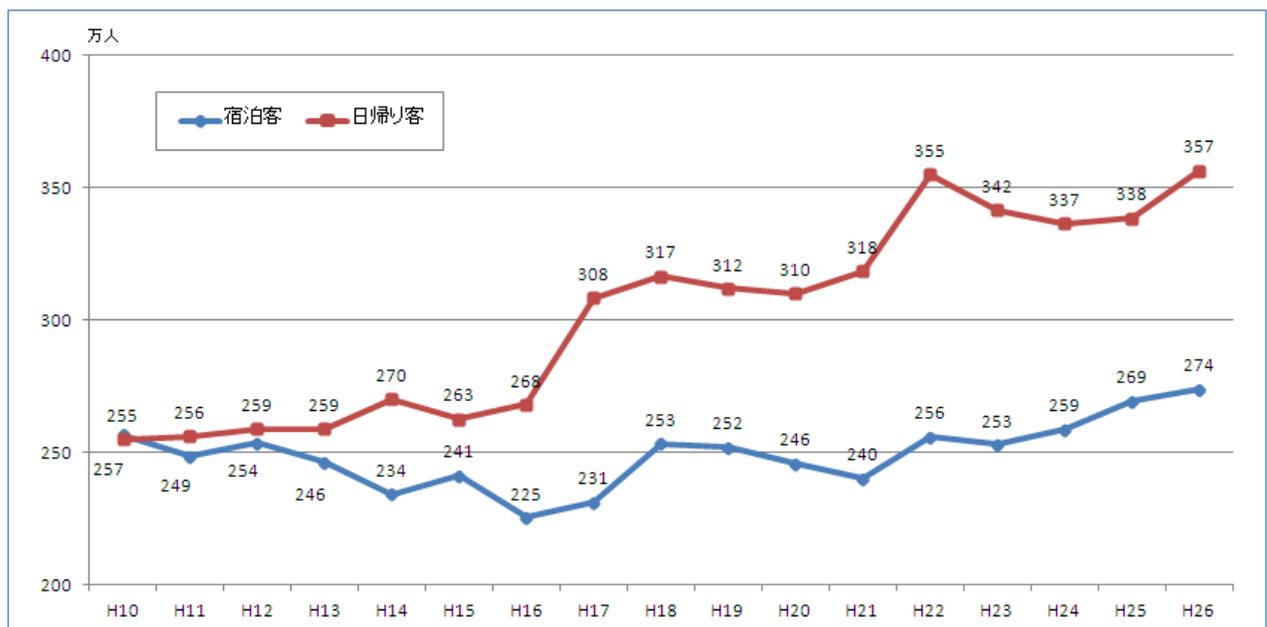


## 6 宿泊客・日帰り客の推移

【単位：人、％】

年	宿泊客			日帰り客		
	人数	前年比	構成比	人数	前年比	構成比
平成 10 年	2,567,300	△9.0	50.2	2,550,400	6.4	49.8
平成 11 年	2,485,200	△3.2	49.2	2,562,600	0.5	50.8
平成 12 年	2,535,000	2.0	49.5	2,588,700	1.0	50.5
平成 13 年	2,464,600	△2.8	48.8	2,588,000	0.0	51.2
平成 14 年	2,342,400	△5.0	46.4	2,700,800	4.4	53.6
平成 15 年	2,412,000	3.0	47.9	2,625,500	△2.8	52.1
平成 16 年	2,253,700	△6.6	45.7	2,681,000	2.1	54.3
平成 17 年	2,311,400	2.6	42.9	3,082,100	15.0	57.1
平成 18 年	2,533,600	9.6	44.5	3,165,700	2.7	55.5
平成 19 年	2,521,500	△0.5	44.7	3,119,400	△1.5	55.3
平成 20 年	2,460,100	△2.4	44.3	3,099,400	△0.6	55.7
平成 21 年	2,401,700	△2.4	43.0	3,183,900	2.7	57.0
平成 22 年	2,557,700	6.5	41.9	3,550,600	11.5	58.1
平成 23 年	2,529,300	△1.1	42.5	3,415,400	△3.8	57.5
平成 24 年	2,586,800	2.3	43.5	3,366,100	△1.4	56.5
平成 25 年	2,694,100	4.1	44.3	3,383,900	0.5	55.7
平成 26 年	2,741,500	1.8	43.5	3,565,300	5.4	56.5

図 4 宿泊客・日帰り客の推移



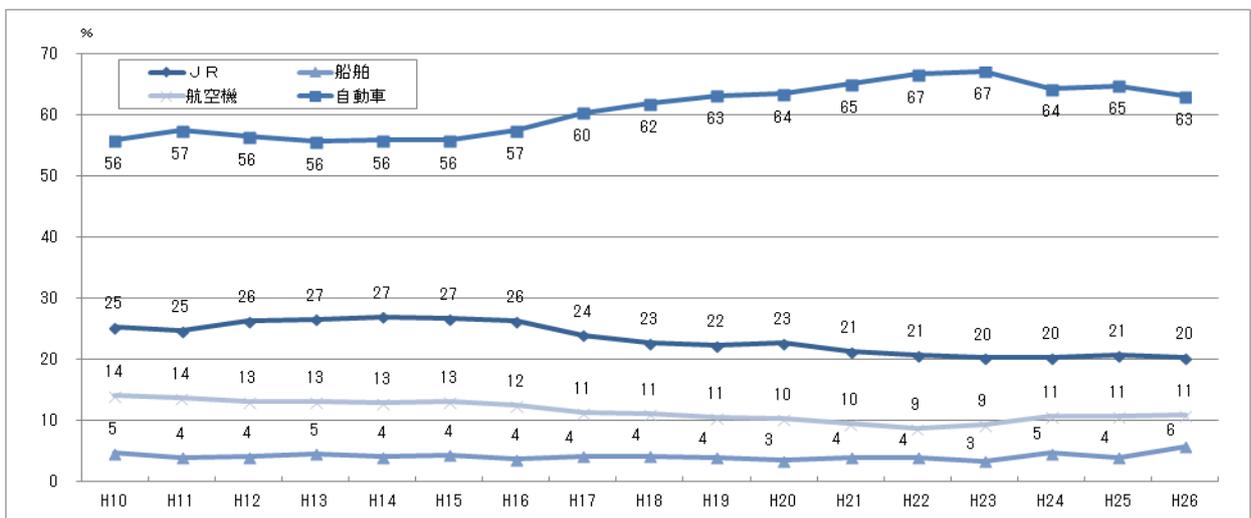
## 7 交通機関別観光客数の推移

【単位：人、％】

年	J R		自動車		船舶		航空機	
	観光客数	前年比	観光客数	前年比	観光客数	前年比	観光客数	前年比
平成10年	1,298,500	△3.8	2,861,300	△1.0	239,300	2.2	718,600	△3.2
平成11年	1,251,100	△3.7	2,901,400	1.4	198,300	△17.1	697,000	△3.0
平成12年	1,350,400	7.9	2,894,000	△0.3	206,600	4.2	672,700	△3.5
平成13年	1,344,800	△0.4	2,812,900	△2.8	229,300	11.0	665,600	△1.1
平成14年	1,361,400	1.2	2,822,400	0.3	204,400	△10.9	655,000	△1.6
平成15年	1,346,800	△1.1	2,815,500	△0.2	216,200	5.8	659,000	0.6
平成16年	1,302,300	△3.3	2,836,300	0.7	179,600	△16.9	616,500	△6.4
平成17年	1,294,600	△0.6	3,258,400	14.9	225,900	25.8	614,600	△0.3
平成18年	1,297,500	0.2	3,530,100	8.3	239,200	5.9	632,500	2.9
平成19年	1,260,200	△2.9	3,566,000	1.0	219,400	△8.3	595,300	△5.9
平成20年	1,262,500	0.2	3,533,800	△0.9	191,400	△12.8	571,800	△3.9
平成21年	1,191,600	△5.6	3,639,000	3.0	222,100	16.0	532,900	△6.8
平成22年	1,260,400	5.8	4,074,700	12.0	242,200	9.0	531,000	△0.4
平成23年	1,201,900	△4.6	3,994,900	△2.0	198,300	△18.1	549,600	3.5
平成24年	1,207,900	0.5	3,832,000	△4.1	278,300	40.3	634,700	15.5
平成25年	1,253,900	3.8	3,938,700	2.8	236,500	△15.0	648,900	2.2
平成26年	1,285,800	2.5	3,979,300	1.0	358,500	51.6	683,200	5.3

※船舶の観光客数のうち国際クルーズ客船の乗客・乗務員数については18ページを参照

図5 交通機関別観光客数（構成比）の推移

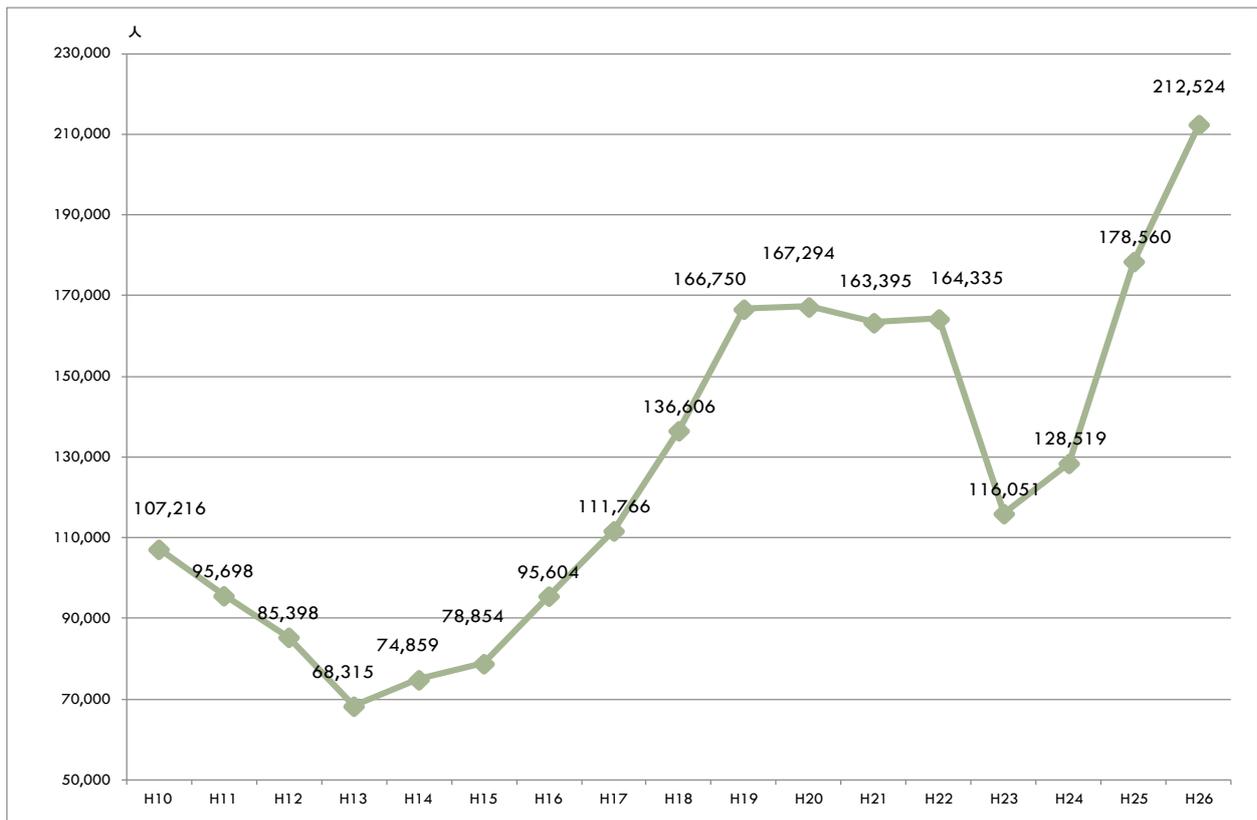


## 8 外国人延べ宿泊者数の推移

【単位：人、％】

年	外国人延べ宿泊者数	前年比
平成 10 年	107,216	17.8
平成 11 年	95,698	△ 10.7
平成 12 年	85,398	△ 10.8
平成 13 年	68,315	△ 20.0
平成 14 年	74,859	9.6
平成 15 年	78,854	5.3
平成 16 年	95,604	21.2
平成 17 年	111,766	16.9
平成 18 年	136,606	22.2
平成 19 年	166,750	22.1
平成 20 年	167,294	0.3
平成 21 年	163,395	△ 2.3
平成 22 年	164,335	0.6
平成 23 年	116,051	△ 29.4
平成 24 年	128,519	10.7
平成 25 年	178,560	38.9
平成 26 年	212,524	19.0

図 6 外国人延べ宿泊者数の推移



## 9 国・地域別外国人延べ宿泊者数

【単位：人、％】

順位	平成 24 年		平成 25 年		平成 26 年			
	国・地域	推 計	国・地域	推 計	国・地域	推 計	構成比	前年比
1	韓国	46,059	韓国	60,539	韓国	70,946	33.4	17.2
2	台湾	26,802	台湾	28,175	台湾	38,100	17.9	35.2
3	中国	11,647	中国	16,466	中国	18,809	8.9	14.2
4	アメリカ	8,065	アメリカ	9,776	シンガポール	8,857	4.2	99.8
5	シンガポール	3,548	香港	4,525	アメリカ	8,411	4.0	△14.0
6	タイ	1,835	シンガポール	4,434	タイ	7,767	3.7	154.7
7	イギリス	1,799	イギリス	3,064	香港	7,016	3.3	55.0
8	オーストラリア	1,720	タイ	3,050	オーストラリア	4,429	2.1	73.8
9	フランス	1,309	ノルウェー	2,745	イギリス	3,129	1.5	2.1
10	ノルウェー	1,267	オーストラリア	2,549	フランス	2,310	1.1	36.8
11	インド	1,240	ドイツ	2,187	オランダ	2,071	1.0	63.3
12	香港	1,027	フランス	1,689	ドイツ	1,548	0.7	△29.2
13	ドイツ	923	オランダ	1,268	カナダ	1,448	0.7	30.2
14	カナダ	771	カナダ	1,112	ニュージーランド	939	0.4	595.6
15	オランダ	718	フィリピン	878	マレーシア	935	0.4	- ※1
-	その他	19,789	その他	36,103	その他	35,809	16.8	-
計		128,519		178,560		212,524	100.0	19.0

※1 マレーシアについては、平成25年まで国別データなし。

※2 構成比については、端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない。

## 10 コンベンション統計

### (1) 長崎県内以上の大会・会議の開催件数及び参加人員

【単位：件、人】

年	件数	参加人員
平成 16 年	845	253,508
平成 17 年	889	299,584
平成 18 年	982	336,154
平成 19 年	993	317,632
平成 20 年	986	343,157
平成 21 年	1,034	369,368
平成 22 年	1,047	362,067
平成 23 年	1,022	336,968
平成 24 年	1,049	392,078
平成 25 年	1,071	366,366
平成 26 年	1,019	517,487

うちスポーツコンベンション 304 件 201,889 人

うちスポーツコンベンション 303 件 188,239 人

うちスポーツコンベンション 222 件 360,228 人

### (2) 規模別の開催件数

【単位：件、%】

規模（人数ベース）	件数			
	平成 25 年	平成 26 年	構成比	前年比
100 人未満	396	408	40.0	3.0
100 人以上 ~ 300 人未満	395	368	36.1	△ 6.8
300 人以上 ~ 500 人未満	125	100	9.8	△ 20.0
500 人以上 ~ 1,000 人未満	81	80	7.9	△ 1.2
1,000 人以上 ~ 2,000 人未満	41	40	3.9	△ 2.4
2,000 人以上	33	23	2.3	△ 30.3
計	1,071	1,019	100.0	△ 4.9

【単位：件、人、%】

規模	件数			参加人員		
	平成 25 年	平成 26 年	構成比	平成 25 年	平成 26 年	構成比
県内大会	736	721	70.8	189,680	174,177	33.7
九州大会	164	109	10.7	66,899	27,293	5.3
西日本大会	13	15	1.5	3,266	9,782	1.9
全国大会	138	160	15.7	90,330	298,243	57.6
国際大会	20	14	1.4	16,191	7,992	1.5
計	1,071	1,019	100.0	366,366	517,487	100.0

※ 構成比については、端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない。

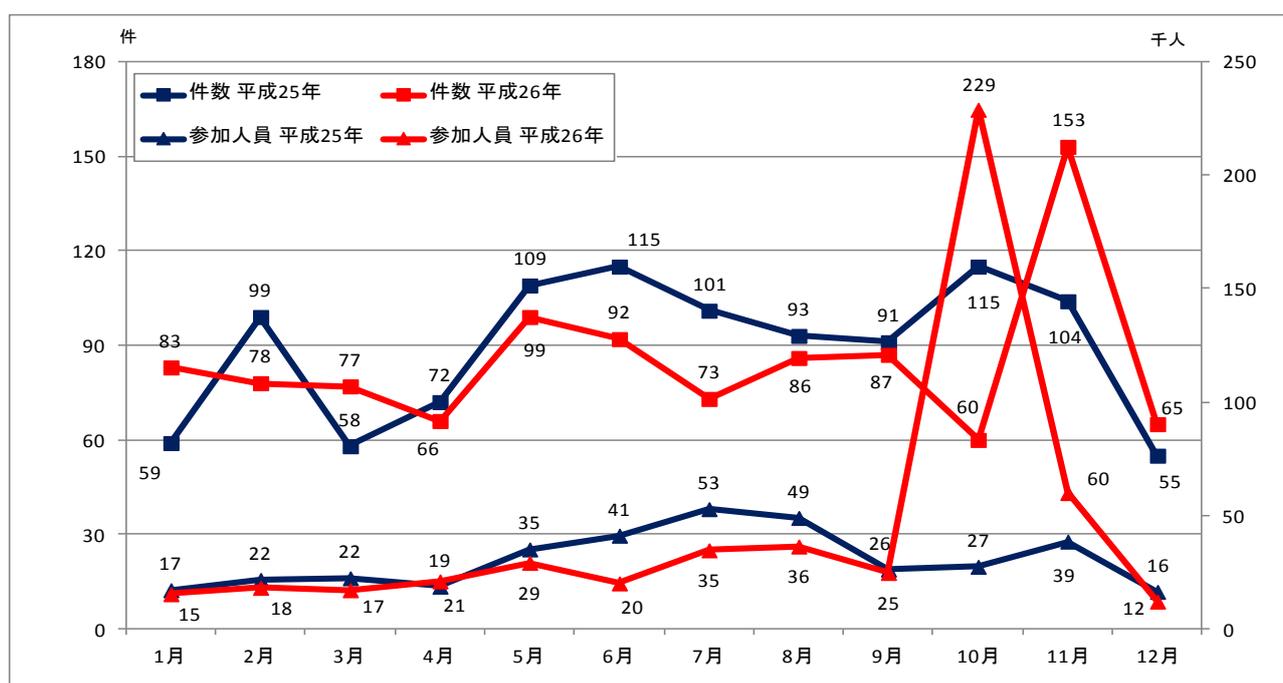
(3) 月別の開催件数及び参加人員

【単位：件、人、％】

月	件数			参加人員		
	平成 25 年	平成 26 年	構成比	平成 25 年	平成 26 年	構成比
1 月	59	83	8.1	17,115	15,340	3.0
2 月	99	78	7.7	21,653	18,150	3.5
3 月	58	77	7.6	22,364	17,108	3.3
4 月	72	66	6.5	18,676	21,006	4.1
5 月	109	99	9.7	35,081	29,161	5.6
6 月	115	92	9.0	41,136	20,111	3.9
7 月	101	73	7.2	52,834	34,689	6.7
8 月	93	86	8.4	48,970	36,360	7.0
9 月	91	87	8.5	26,202	24,716	4.8
10 月	115	60	5.9	27,424	228,849	44.2
11 月	104	153	15.0	38,535	59,920	11.6
12 月	55	65	6.4	16,376	12,077	2.3
計	1,071	1,019	100.0	366,366	517,487	100.0

※ 構成比については、端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない。

図 7 月別の開催件数及び参加人員



## 11 経済波及効果

直接効果から間接2次波及効果までを合計した総合効果1,939億円が、「平成26年に長崎市を訪れた観光客」の経済波及効果であり、長崎市を中心とした長崎県内に対して、直接効果（＝県内最終需要）1,114億円の1.74倍の経済波及効果を及ぼすものと推測できる。

雇用効果をみると、就業誘発効果は全体で27,503人と推計され、産業部門別で効果が大きいのは「飲食店（11,397人）」、「商業（5,191人）」、「宿泊業（4,041人）」などである。

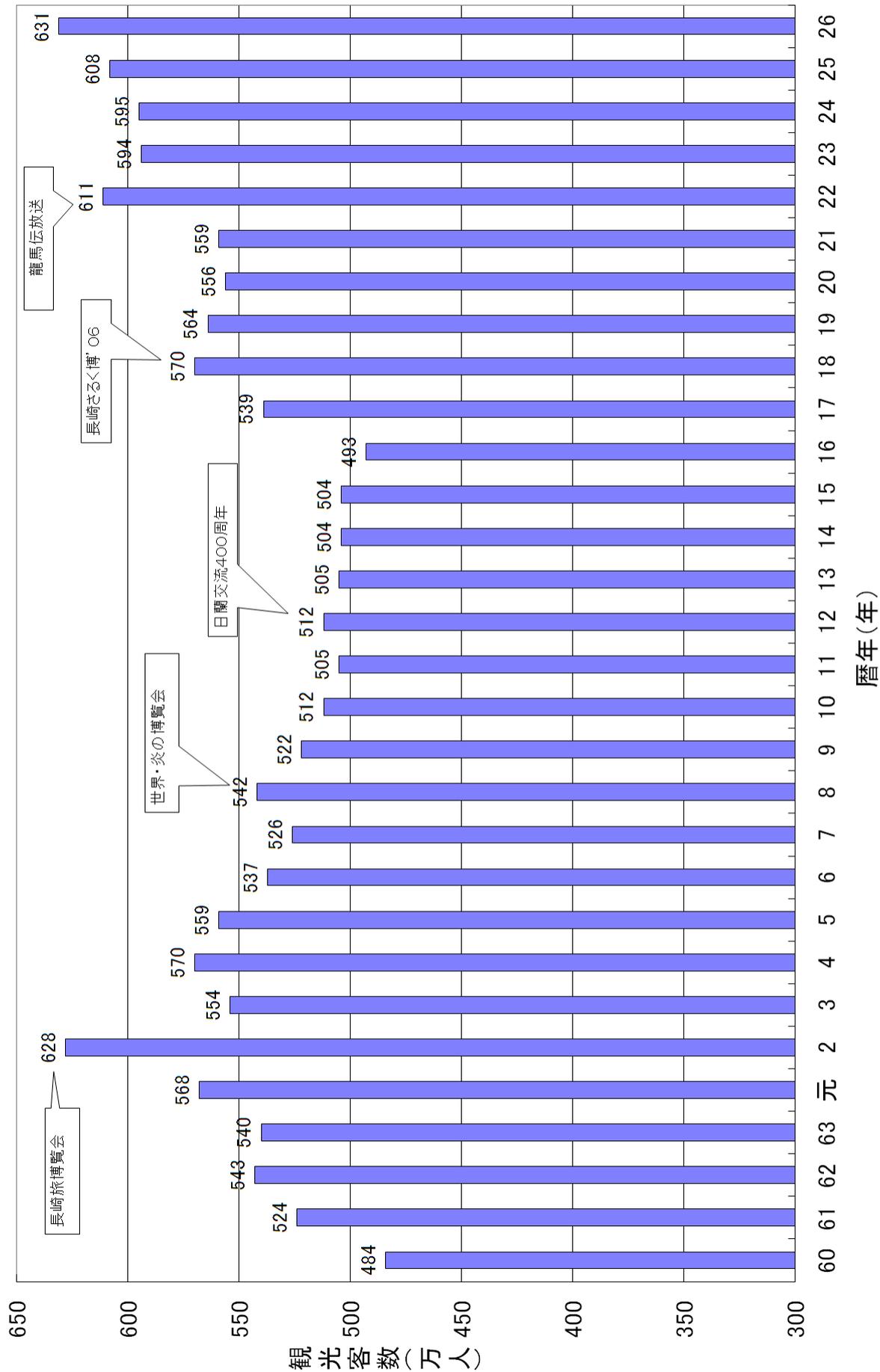
【単位：億円、人】

項目	平成25年	平成26年	前年比
総合効果（①+②）	1,885	1,939	54
直接効果…①	1,080	1,114	34
飲食店	541	561	20
宿泊業	306	311	5
商業ほか	235	240	5
波及効果…②	804	826	22
間接1次波及効果	470	484	14
間接2次波及効果	334	342	8
就業誘発効果（就業者誘発数）	26,694	27,503	809

※ 端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない。

# 参 考 资 料

# 1 観光客数の推移



## 2 主要観光施設の入場者数

【単位：人、％】

施設名	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	前年比
グラバー園	933,660	998,544	1,038,202	4.0
出島	393,807	432,297	437,812	1.3
原爆資料館	644,391	660,938	667,721	1.0
計	1,971,858	2,091,779	2,143,735	2.5

※ 入場者数には無料入場者も含む。

## 3 主要イベントの集客数及び経済波及効果

### (1) 集客数

【単位：万人、％】

イベント名	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	前年比
長崎ランタンフェスティバル	77.0	101.0	87.0	△13.9
長崎帆船まつり	21.3	20.3	17.2	△15.3
計	98.3	121.3	104.2	△14.1

※ 平成 25 年の長崎ランタンフェスティバルの集客数は前夜祭を含めた 16 日間のものであり、前夜祭を除いた 15 日間の集客数は 94 万人

※ 平成 27 年の長崎ランタンフェスティバルの集客数 92 万人（平成 26 年比 5.7%増）

### (2) 経済波及効果

【単位：億円、％】

イベント名	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	前年比
長崎ランタンフェスティバル	74.0	93.0	73.0	△21.5
長崎帆船まつり	9.4	9.5	9.1	△4.2
計	83.4	102.5	82.1	△19.9

※ 平成 25 年の長崎ランタンフェスティバルの経済効果は前夜祭を含めた 16 日間のものであり、前夜祭を除いた 15 日間の経済効果は 85 億円

#### 4 宿泊施設の状況

(1) 種別による部屋数及び収容人員（平成26年4月1日現在）

【単位：軒、室、人】

種別	施設数	室数				収容人員			
		和室	洋室	和洋室	計	和室	洋室	和洋室	計
ホテル	27	111	2,579	112	2,802	586	4,593	530	5,709
旅館	37	659	95	53	807	2,677	164	280	3,121
ビジネスホテル	28	67	2,102	5	2,174	208	2,802	25	3,035
民宿・ ペンション	37	251	56	5	312	574	83	14	671
ユースホステル ・ホステル	3	26	6	0	32	114	54	0	168
公営宿泊施設 ・保養所	16	93	225	21	339	530	1,033	129	1,692
計	148	1,207	5,063	196	6,466	4,689	8,729	978	14,396

(2) 種別・規模別の宿泊施設数（平成26年4月1日現在）

【単位：軒】

種別	50人未満	50人以上 100人未満	100人以上 200人未満	200人以上 300人未満	300人以上 400人未満	400人以上 500人未満	500人以上	計
ホテル	3	4	8	5	4	2	1	27
旅館	23	7	3	1	1	1	1	37
ビジネスホテル	8	9	7	3	0	1	0	28
民宿・ ペンション	34	3	0	0	0	0	0	37
ユースホステル ・ホステル	2	1	0	0	0	0	0	3
公営宿泊施設 ・保養所	7	5	3	0	0	0	1	16
計	77	29	21	9	5	4	3	148

## 5 クルーズ客船乗客・乗務員数

### (1) 国内・国際クルーズ客船乗客・乗務員数

【単位：人、％】

	平成 24 年		平成 25 年		平成 26 年		
	隻 数	推 計	隻 数	推 計	隻 数	推 計	前年比
計	73 隻	120,741	39 隻	78,683	75 隻	199,031	153.0

### (2) 国内クルーズ客船乗客・乗務員数

【単位：人、％】

	平成 24 年		平成 25 年		平成 26 年		
	隻 数	推 計	隻 数	推 計	隻 数	推 計	前年比
計	1 隻	500	2 隻	1,724	3 隻	1,808	4.9

### (3) 国際クルーズ客船乗客・乗務員数

#### ① 乗客数

【単位：人、％】

順位	平成 24 年		平成 25 年		平成 26 年		
	国・地域	推 計	国・地域	推 計	国・地域	推 計	構成比
1	中国	30,777	日本	16,856	中国	71,450	51.8
2	韓国	13,038	アメリカ	7,384	台湾	15,394	11.2
3	オーストラリア	10,416	イギリス	5,727	日本	13,415	9.7
4	アメリカ	8,241	オーストラリア	5,637	アメリカ	9,355	6.8
5	イギリス	6,279	中国	3,771	オーストラリア	8,006	5.8
-	その他	12,046	その他	12,754	その他	20,230	14.7
計	-	80,797	-	52,129	-	137,850	100.0

## ② 乗務員数

【単位：人】

	平成 24 年		平成 25 年		平成 26 年		
	国・地域	推計	国・地域	推計	国・地域	推計	構成比
計	-	39,444	-	24,830	-	59,373	-

## 乗客・乗務員数(①+②)

【単位：人、%】

	平成 24 年		平成 25 年		平成 26 年		
	隻数	推計	隻数	推計	隻数	推計	前年比
計	72 隻	120,241	37 隻	76,959	72 隻	197,223	156.3





長 崎 市